#### 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

· · ·	
Title	ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年
Sub Title	Diary of a New York farmer, 1850
Author	岡田, 泰男
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1972
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.65, No.6 (1972. 6) ,p.429(65)- 443(79)
JaLC DOI	10.14991/001.19720601-0065
Abstract	
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19720601-0065

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

本稿執筆後、次の論文を知った。Kew, J., 'The Disposal of Crown Lands and the Devon Land Market, 1536-58', Agricultural History Review, vol. 18, pt. 2 (1970), pp. 93-105. 私的土地市場の展開を実証的量的に確認するという正当かつユニークな手続きを経た後 Kew が得た結論のうち、さしあたり興味深いのは次の二点である。1)旧修道院領を中心とする王領地売却は、土地市場全体の半分以下である。このことが「何故短期にあのように多量の修道院の土地を吸収しえたか」を説明する。2)王領地処分は私的土地市場成長の刺激となった。私的土地市場について実証できなかったわれわれの結論は説得力を欠くとはいえ、北東部の例によって示したかったことの一つは、(例えば Devon と較べて) 私的土地市場展開度の低さが、政治的等の要因と相まって、王領地「吸収」の規模と経路に一定の限界を設けたこと、この限界が翻って、王領地処分の土地市場全体に与える「刺激」の大きさと方向に限界を設けたこと、である。 (大学院経済学研究科博士課程)

資 料

# ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

岡田泰男

農民の日記が、農業史の貴重な史料であることはい うまでもない。 もちろん、 日記をつけていた農民は例 外的であって、そうした史料から、平均的農民の姿を 描き出すことは困難かもしれない。しかし、農民の日 常生活を知らせてくれる点で、日記は、旅行記、新聞 雑誌記事,農業協会報告書などに比べ,はるかに重要 である。私は先に、あるニュー・ヨーク州の農民の約 20年分の日記を利用して論文を書いたが、わが国では まだアメリカ農民の日記そのものが紹介されたことは ないし、また、私の利用した日記が公刊される見込み もないので、以下に1年分(1850年)のみを取り上げ、 訳出してみた。日記の筆者は当時オスウィゴ郡 (Oswego) に住んでいたフランシス・スクワイアーズ(Francis W. Squires) であり、1850年には30歳の農民であった。 彼および彼の農場については、前記の論文を参照され たい。なお、彼の日記には当然のことながら、天候につ いての記載があり、「朝のうち曇、午後は一時晴れて 北西の風、夜に入ってから雪がちらつく」という類の 詳細な記入がなされているが、あまりにスペースをと りすぎるので、残念ながら天気の記事は割愛した。

#### 1月2日

木材 3 台分 (load) をメリアム (Merriam) へ、1 台分 木材 2 台分を運ぶ。

をランサム (Ransam) へ運び、留め金を買う。

#### 1月3日

木材 3 台分を、メリアムのため、ポタッシュ (potash) 製造場へ運ぶ。あらびき粉を持ち帰る。

#### 1月4日

木材 3 台分をメリアムのため、ボタッシュ製造場へ 運ぶ。総量は 6 コード (cord) で、1 コードあたり 9 シ ルである。また、メリアムのため、4 台分 (2<sup>5</sup>/<sub>8</sub>コード) を、アレン (Allen) の所へ運んで帰る。14シル。

### 1月7日

丸太7本をゴードン (Gordon) の製材所へ運ぶ。2.14 フィート。

#### 1月8日

ウィラード (Willard) 夫婦と一緒にオスウィゴへ行 く。りんご3ブッシェルを持ってゆき、ブッシェルあ たり3シル6ペンスで売る。また、じゃがいも2ブッ シェルを、ブッシェル3シル6ペンスで売った。

#### 1月9日

丸太5本を製材所へ運ぶ。14フィート。

### 1月10日

乾草 1/2 トンをウィルソン (Wilson) へ, また1,100 ポンドをメリアムへ運ぶ。価格はトンあたり 7 ドル。 (6) 木材 2 台分を運ぶ。

- 注(1) 岡田泰男「一農民の日記より見たるニュー・ヨーク農業の変遷」(『三田学会雑誌』64巻8号)日記の原本は、Squires' Diary (MSS), Collection of Regional History, Cornell University である。
- (2) 木材 1 台分とは、馬そりに 1 台分のことである。 メリアムは、日記筆者の住んでいたニュー・ヘイヴン (New Haven) の商人の名。
- (3) ボタッシュは木灰からつくったカリで、ガラスや石けんの製造、染色に利用されると共に、羊毛の洗浄剤として多く使われた。
- (4) コードは木材の単位。長さ4フィートの材木が、幅8フィート、高さ4フィートに積上げられた1山が、1コードである。重さにすれば2トンから2トン半になり、馬2頭でひく馬そりの1台分から2台分にあたる。なお日記の中の貨幣計算は、シリングとドルとが併用されており、1シルは12.5セントに等しい勘定になっている。
- (5) ウィラードと日記筆者とは兄弟で、共に父の家に住んでいる。オスウィゴは、彼等の農場から10マイルほど離れたと ころにある町である。
- (6) ウィルソンは商人の名。

1月11日

馬具の手入れをし、馬そりのながえにペンキをぬる。 張道路の近くへ、木材を家へ運んだ。

2月5日

木を伐る。

2月6日

木材、3,4台分を運ぶ。

2月7日

木材7台分を運ぶ。

2月8日

父と一緒にオスウィゴに行き、じゃがいも4ブッシ ェルを、ブッシェルあたり3シル9ペンス、バター71/1 ポンドを、ポンドあたり14セント、豆1/2ブッシェルを、る。 ブッシェルあたり8シルで売る。

2月9日

ネルソン (D. Nelson) との勘定を清算する。

2月15日

21/1コード分の薪木用の生木を切る。 父とウィラー ドが割って積み上げた。

2月21日

丸太を割る。父は3台分をハワード (Howard) の所

2月22日

3/、コードの丸太を切り、割る。父は3台分を製材所 へ運ぶ。

2月23日

丸太1台分を運ぶ。

2月25日

丸太を切る。

2月27日

今日も樺の木 (birch) の丸太を切る。父は木の先の 方を切る。

2月28日

枫の木 (maple) の丸太を切る。 父は丸太を板張道路 (plankroad) の近くまで運んだ。

3月1日

木を切る。

3月2日

枫の木の丸太を切る。父は樫の木 (oak) の丸太を板

3月4日

楓の木の丸太を切る。カラン (Curran) が手伝ってく れる。父は丸太を2台分と木材を運ぶ。

3月5日

本日、タウン・ミーティング。

3月6日

父はオスウィゴへ、じゃがいも2ブッシェル (ブッシ ェルあたり3シル7ペンス)と、バター43/、ポンド (ポン ドあたり15セント)を売りに行く。くず小麦35ブッシェ ル、重さ18ポンド、ポンドあたり8セントで買ってく

3月7日

学校は昨日で終了。12週、週2ドルで給食つき。ウ ィラードと一緒に昨日も今日も丸太を切る。

3月8日

しなの木 (bass) の丸太を切る。父は午前中は丸太, 午後は板や切れはしを、下の林から運んだ。

3月9日

ウィラードと私は樺の木の丸太を切る。父は丸太を 運び、板張道路の氷をどけるのを手伝った。

3月11日

樽ふた, 底板用のしなの木の板を, グリッドリイ (Gridley) の所に運ぶ。木を切る。

3月12日

下の林で、丸太用のつがの木 (hemlock) を切る。

3月13日

ウィラードと、しなの木の底板 1,137 枚を家へ運ぶ。

3月14日

休作地 (fallow) で木を切る。とねりこ (ash) の底板 を切る。

3月15日

丸太を切る。

3月16日

糖密 2 クォートを作る。とねりこの底板を切り、休 作地で、つがの木を切る。父はダムの仕事を手伝う。

3月18日

馬小屋へ乾草を運ぶ。

注(7) 目記筆者は、樽の製造にも従事しており、ここで割っている丸太はその材料である。

- (8) 板張道路は、長さ8フィート、厚さ3インチ程度の板を、道に埋めこんだ枕木の上に張ったもの。道路会社のつくっ た有料道路で、当時ニュー・ローク州で盛んにつくられていた。
- (9) 当時の学校は冬期だけのもので、長くとも20週程度であった。
- (10) 樽のふた及び底板の部分には、しなの木や、とねりこが利用されることが多かった。

ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

3月19日

ウィラードと、とねりこの丸太を運び、下の林で、 しなの木を切る。

3月20日

休作地の丸太を運び出す。カランが手伝ってくれて、 板2台分を運んだ。

3月21日

朝、鎖を修理し荷車へ運び、ハワードの製材所へ、 10時過ぎに、丸太6台分を運ぶ。場所は、板張道路近 くの, カランの家の反対側。

3月22日

丸太5台分と, 樽板2台分(1,733枚)を家へ運ぶ。楓 の木。

3月23日

丸太3台分と、楓の樽板3台分(3,073枚)を家へ運ぶ。 ウィラードは板を積み上げる。父は午前中、休作地で 子牛を3ドルで売る。また、ウィルソンにじゃがいも 木を切り、午後は丘の上へ行った。

3月25日

丸太2台分と樽板700枚を家へ運ぶ。板を積み上げ る。父は休作地で木を切った。

3月26日

父とオスウィゴへ行く。卵5ダース、ダースあたり 10セント。オート麦5ブッシェル、ブッシェルあたり 3シル。じゃがいも2ブッシェル、ブッシェルあたり 3シル6ペンスで売る。

3月27日

丸太の最後の分(3台分)と, 樽板 2,749枚を家へ運 ぶ。父とウィラードは休作地で木を切る。

3月28日

父は, ロビンソン先生 (Dr. Robinson) の所へ木材 2 4月10日 台分を戻す。1台分あたり6シル。ウィラードと私は 休作地で木を切る。

3月29日

樽用の丸太1台分をグリッドリイの所へ運び、樽板 の最後の分(1,580枚)を家へ運ぶ。合計 13,042枚。1,000 枚あたり12シル。

3月30日

ウィラードと休作地でもみの木 (fir) を切る。 父は 樹液を煮る。カランへ乾草600ポンドを、(トンあたり) 9ドルで売る。

4月1日

ウィラードと、しなの木の底板を少し切り、休作地 で薪木をつくる。

4月2日

休作地から薪木を運び出す。カランが馬を連れて手 馬そりで運んでくれた。私は仕事場へ、しなの木の底 伝った。 71/2 セント。 グリッドリイの所へ樽用の丸太 1台分を運ぶ。

4月3日

野菜畑をすき起し。また川向らの土地を少し切り開 く。野菜畑の下をグッドゼル (Goodselle) の馬鍬でなら す。ブラウン (Brown) の雌牛を24ドルで買う。

4月4日

ウィラードはしなの木の樽材を割る。私は木を切り、 馬の蹄鉄をつけてもらった。

4月5日

馬小屋に乾草を運ぶ。メリアムに生れて5週間目の 2ブッシェルを、4シルで売る。川向らの土地を再び 切り開く。

4月6日

ウィラードと私は開墾、父は少し雑用をする。

4月8日

ウィラードと私は開墾、クロフォード (Crawford) と カランが、われわれのためにまだ一度もすきが入って いない所を切り開いてくれた。400ポンドの乾草をカ ランに売る。(トンあたり) 9ドル。

クロフォードとカランが再び、霜のとけた8時半か ら、開墾をしてくれた。ウィラードと私は、休作地で 木を切った。

ウィラードと私は休作地で木を切り、開墾をした。 ジョンソン (Johnson) から、本を5ドル分買う。

4月11日

ウィラードと休作地で木を切り、父は納屋で木を切 る。グッドリッチ (Goodrich) から厚板を買う。楓の厚 板、5シル。

4月12日

グリッドリイの所から、1,080枚の底板を運ぶ。(内 640枚は、とねりこ)12シルと2ドル。

4月13日

注(11) 樽板は、樽の胴の部分に使うもの。これから後、何ヵ月か乾かしてから、樽つくりにかかる。

- (12) ロビンソン先生は、ニュー・ヘイヴンの医者。
- (13) 樹液を煮る、とは砂糖楓の樹液を煮て、メイブル・シロップをつくっているのである。

#### 4月14日

父と1日中教会へ行く。

#### 4月15日

カランが手伝って、ウィラードは開墾作業を今日で 終える。乾草半トンをA・ハワードに、トンあたり10 ドルで売る。

#### 4月16日

昨日グレンビイ(Granby)の村へ行く。ギルフォード (Guilford) に靴の代金を払う。 馬の売買に多くの人が 来ていた。

#### 4月17日

午前中、家の修繕をする。午後、ウィラードと休作 地で木を切る。

#### 4月18日

午前中、休作地から木を運び出す。ウィラードと休 作地で木を切る。

### 4月19日

ウィラードと川向らに横木を運び、開墾をした部分 に棚囲いをする。父は野菜畑に肥料を運ぶ。

#### 4月20日

ウィラードと肥料を運び、畑の下の側へ、じゃがい もを11列植える。丘の上へ肥料をまく。ウィラードは 木を移植する。

### 4月21日

くるみの木 (walnut) を茂みから抜いて道にそって植 える。子馬と当才駒を川向うの開墾した土地に移し、 日に1度飼料をやる。

#### 4月23日

家の修繕をする。

### 4月24日

父とウィラードは、オスウィゴへ 7½ ポンドのバター ーを持ってゆき、ポンドあたり14セントで売る。穀物 くずとしっくいを買って戻る。

#### 4月25日

父と私はオスウィゴへ行く。乾草 1,380 ポンドを, ショージ・エイムズ (Geo. Ames) に 100 ポンドあたり 8 シルで売る。ワイマン (Weiman) から、小麦粉 1 樽 を5ドルで、ティモシイ (Timothy) の種子1級品1/2ブ ッシェルを、ブッシェル3ドルで買う。道路は次第に 5月8日

埃っぽくなってきた。

#### 4月26日

子馬、 当才駒に乾草を与えるのを昨日からやめる。 但し、穀物くずを日に1回与える。南側の畑へ肥料24 台分を運ぶ。

#### 4月27日

ウィラードと南側へ肥料11台分運ぶ。畑に、じゃが いもを14列植える。ピアース (Pierce) に 300 ポンドを, 100 ポンドあたり 4 シルで売る。

#### 4月29日

休作地で少し木を切る。強風が吹いて棚がたおれた。

午前中、休作地で木を切る。午後、荷車1台で、10 台分の肥料を南側へ運ぶ。地面はしめっている。

#### 5月1日

屋根板材料を林から運び、納屋にしまう。

ウィラードと南側の畑に50台分の肥料をまき、雑用 をする。父とオスウィゴに行き、32ポンドのバターを、 ポンド14セントで売る。種小麦1ブッシェルを、ブッ シェル12シル、11/2ブッシェルのえんどう豆を、ブッ シェルクシルで買う。

#### 5月3日

軽い霜がおりた。10時まで樽板を運び、南側の畑を 1エーカーすきで耕す。野菜畑のじゃがいも植付けを 終える。

オート麦を3/エーカー種まきし、馬鍬でならす。南 側の畑

牛に、乾草と穀物くずを日に1回与える。牧草がよ く育っている。

### 5月6日

ウィラードと丸太12本運ぶ。北側の土地で木切れを 拾う。バーンズ (Burns) から、石けんをつくるための 釜を借りてくる。

#### 5月7日

ウィラードと北側の土地で木切れを拾う。ウィラー ドは休作地で木を切り、父は丘の上へ行き、馬に蹄鉄 をつけてもらう。

**---** 68(432) **---**

### ニュー・ヨーク農民の日記。1850年

木材1台分を製材所から運び、納屋にしまう。雑用 ある。 をする。

#### 5月9日

して、前庭から牧草地へ家畜が行けるようにした。板切る。 の残りを運ぶ。3台分あった。全部で2,146フィート。 5月22日 その内、1,100フィートは12フィートの板。残りは柵 用の板である。

#### 5月10日

えんどう豆11/2ブッシェルと、オート麦2ブッシェ ルを、川の南側の芝土のところへまき、馬鍬でならす。 ウィラードは休作地で木を切る。

#### 5月11日

南側の土地へ小麦1ブッシェルをまき、馬鍬でなら す。ウィラードと休作地で木を切る。

#### 5月13日

クロフォードのため馬鍬でならす。父はピアースの 所へ行き、ウィラードは休作地で木を切る。ロレン ゾ・グッドリッチ (Lorenzo Goodrich) に、牛れて4週間 目の子豚2匹を、1匹10シルで売る。

### 5月14日

晴れて暖かく、植物の成長が盛んである。ディヴィ ッド・フィールド(David Field) へ,子豚 1 匹10シルで 売る。野菜畑の下の11/4エーカーを約7時間、13ロッ ドの長さをすき起す。畑に西瓜の種をまく。

#### 5月15日

午前中, 豚糞の肥料を3台分運び、とうもろこし畑 へすき込む。午後、畑の下へ、とうもろこしを28列植 え、肥料をやる。

#### 5月16日

畑の下に、とうもろこし植付け終える。11/4 エーカ ー。うねに肥料3台分やる。

### 5月17日

午前中はウィラードと休作地で木を切り、午後、作 業場で働く。

### 5月18日

川の南側に柵をつくる。

#### 5月20日

シェル4シル3ペンス, バター14ポンド, ポンド1シ るのを手伝った。 ルで売る。メリアムのため積荷を持ち帰る。ウィラー ドと私は休作地で木を切る。桃、すももの花が満開で 6月1日

午前中、ウィラードと芝士の土地から木切れを運び、 家畜小屋の前庭の塀をどけて横木をおき、柵を動か そこを馬鍬でならす。父とウィラードは休作地で木を

クロフォードの手伝いをする。家族の者は畑へじゃ がいもを植え始めた。土地の東側へ棚の柱をたて、壁 用の石を少し並べた。

#### 5月23日

棚の木と石を、父と運ぶ。私はクロフォードのため 馬鍬でならす作業をした。ウィラードは東側の壁をつ くる。ピアースに子豚2匹を1匹10シル6ペンスで売 る。

#### 5月24日

雨降りなので作場場で働く。

#### 5月25日

石を運び、クロフォードのため馬鍬でならす。家畜 小屋の間をすきで耕す。父はキャベツの種をまき、ウ ィラードは壁をつくる。

#### 5月26日

父はピアースの所へ行く。ウィラードと私は丘の上 へ行く。ウィラードは東側の壁を完成する。5ロッド 31/2フィート。私は石を運び家畜小屋の間へとうもろ こしを植えるのを手伝った。

### 5月28日

なしの花が満開である。ウィラードと私は北側の土 地を切り開き、私は芝土を馬鍬でならす。父とウィラ ードはそこへじゃがいもを植える。

#### 5月29日

芝土のところを馬鍬でならす。家族の者はそこへじ ゃがいもを植え、私はそれを手伝う。

#### 5月30日

芝土を馬鍬でならし、家族の者がそこへ、じゃがい も、とうもろこしを植えるのを手伝った。野菜畑の下 のとうもろこしは芽を出し始めた。

### 5月31日

グッドゼルに、芝土を馬鍬でならす作業をやり終え 父はオスウィゴへ。じゃがいも4ブッシェル、ブッ てもらう。私は家族の者が、古い根をほり、植付けす

注(14) 冬の間、家畜を小屋の中へ飼っておくが、春になると放牧するのである。

<sup>(15)</sup> ティモシイは牧草の1種。

注(16) 1ロッドは161/2フィート。

<sup>(17)</sup> 作業場とは、主に樽つくりのための作業場のことである。農場内の小屋、または納屋の一隅かもしれない。

#### 6月3日

芝土の土地2エーカー半にじゃがいも植付け終了。 夜になって、とうもろこしの種まきのため、肥料4台 分をまく。

### 6月4日

午前中, 南側へとうもろこしをまく。30ロッド。また 馬鍬でならす。ブラウンが休作地を焼くのを手伝う。 今は、りんごの花が満開だ。

#### 6月5日

父と8頭の羊の毛を刈る。羊毛の重さは次の通り。 5ポンド10オンス, 3・9, 3・4, 3・2, 3・0, 2・12, 2・12, 2・8。最初のは雄羊である。休作地を焼く。

#### 6月6日

父とウィラードは野菜畑で働く。

#### 6月7日

午前中,フラー (Fuller) のため馬鍬でならす。ウィ ラードと一緒に休作地で木を切る。父は、とうもろこ しが虫にやられてしまったところに、豆をまいた。

#### 6月8日

B (ブラウン) の家の者, ウィラードと一緒に東側に 草を少しする。 木の柵をつくる。フラーが馬を連れてきて手伝ってく れた。父は、じゃがいも畑の手入れをする。

### 6月10日

ウィラードと休作地で木を切る。作業終了。

### 6月11日

手伝う。丸太の山が18できた。父はじゃがいもの手入 九。

### 6月12日

われわれの土地とグッドゼルとの間に、丸太で柵を つくる。カランが馬で手伝う。野菜畑のじゃがいもの 手入れを終え、とうもろこし畑の除草を少しする。

#### 6月13日

丸太を運ぶ。L・グッドゼルは馬で手伝う。 2 日間 で終え、12シル。2日間に、2エーカーの土地に、丸 父は芝土の畑のとうもろこしを除草。 太の山が20できた。

### 6月14日

休作地の木切れをひろう。父は休作地で、丸太の山の 間に、とうもろこしを植えた。

#### 6月15日

休作地にとうもろこしを植え、6時頃に終える。カ ランが手伝う。約1エーカー半植えた。

### 6月17日

野菜畑の下のとうもろこしの除草。

#### 6月18日

ウィラードと道普請。父はとうもろこし畑の除草。 ティモシーが芽を出しはじめ、クローバーは、花が開 いてきれいだ。にセアカシアの木が花をつけ始めた。

午前中、ウィラードと道普請、午後は仕事場で働く。 父はとうもろこし畑の除草。昨日メリアムから、樽の たがを1,000本、3ドル50セントで買った。

#### 6月20日

ウィラードと一緒に、樽を8個つくる。父はとうも ろこし畑の除草。今月15日に新しく耕した土地に植え たとうもろこしが芽を出した。

#### 6月21日

ウィラードと、樽を20個つくる。父は野菜畑の下の とうもろこしの手入れを終え、芝土の土地で除草。

ウィラードと、樽を18個つくり、底板を半分はめる。 父は、新しく耕した土地に、とうもろこしを植え、除

#### 6月23日

畑のとうもろこしは、高さ2フィート以上のものも ある。

### 6月24日

ウィラードと、樽を18個つくり、底板をはめる。父 丸太を運ぶ。C・ネルソンとL・グッドゼルが馬で は新しい畑へとうもろこしを植え、芝土の畑のとうも ろこしを除草。

### 6月25日

父はオスウィゴへ、9ブッシェルのオート麦を持っ てゆき, 41セントで売る。オリヴァー (Oliver) へ, 子 羊5匹を 91/4 シルで売る。現金売り。ウィラードと樽 を16個つくり、その内9個は私のつくった分。

#### 6月26日

- ウィラードと樽を15個つくり,その内8個は私の分。

### 6月27日

ウィラードとオスウィゴへ樽を95個持ってゆき、バ グッドゼルとの間の欄を、ウィラードと完成させる。 ーディー (Pardee) へ 1 個20セントで売る。父は野菜畑

### ニュー・ヨーク農民の日記、1850年

のじゃがいもを、2度目の除草。野菜畑の下へとうも 7月8日 ろこしを植える。

#### 6月28日

野菜畑のじゃがいもの2度目の手入れを終えた。中 には、花をつけているものもある。父と、芝土の畑の とうもろこしに灰をまいてやる。

#### 6月29日

は乾草のところから肥料を出す。また、川沿いの土地 の雑木の棚をなおし、夜になる前に馬に蹄鉄をつけて 7月10日 もらう。ウィラードは狩りに行き、しまりす7匹をと

#### 6月30日

畑のえんどう豆が花をつけ始めた。

#### 7月1日

芝土の畑のじゃがいもの除草。除草が一度だけで良 いように念入りにする。

#### 7月2日

父はオスウィゴに卵29ダースを持って行き、ホイッ トニイ商店 (Whitney & Co.) で、1ダース11セントで 7月13日 売る。小麦粉を小さな袋に2袋、49ポンド買う。3ド ル。両方とも現金取り引き。ウィラードと私はじゃが 7月15日 いも畑の除草。

#### 7月4日

ティモシーは花をつけ、先月15日に植えたとうもろ こしは、16インチにまでのびた。芝土の畑の南側、グ ッドゼルの土地に隣りあわせた部分のじゃがいもを除 草。野菜畑の下のとうもろこしは茂って、高さ3フィ ート8インチほどのものもある。

### 7月5日

の会合に行き、牧師館に15ドル払う。お金を借りる。 7月6日

父とウィラードは野菜畑の下のとうもろこしの除草 をし、また、とうもろこしを真っ直ぐに立ててやる。 父は芝土畑のじゃがいもを少し手入れする。小麦とオ ート麦が穂を出しはじめ、さくらんぼは、そろそろ熟 れている。

#### 7月7日

新じゃがいもを掘ってみる。中にはくるみ位の大き さのものもある。

芝土畑のじゃがいもの除草。野菜畑の下のとうもろ こしは、高さ5フィートのものもある。西瓜が花をつ け始めた。ホワイト・デイジイ (white daises) を少し棚 る。きゅうりが花をつけた。

#### 7月9日

午前中、芝土畑のじゃがいもの除草を終え、午後と 父は野菜畑と、家畜小屋の間の土地を除草した。私 うもろこしの2度目の除草。新しく耕した畑のとうも ろこしは、高さ2フィートから2フィート半

ウィラードとホワイト・デイジーを掘り、積み上げ ておく。大納屋の横と北側の方で少しばかり乾草刈り をはじめる。父は野菜畑の下のとうもろこしの2度目 の除草。

#### 7月11日

父と野菜畑の下のとうもろこしの除草をし、乾草を 拡げ、まとめる。

#### 7月12日

ウィラードと、北側の乾草刈取りをし、2台分運ぶ。 父は野菜畑の下で除草。

乾草2台分を運ぶ。

午前中、新しく耕した畑で除草をし、午後、果樹園 の西側の乾草刈り。東側も刈取る。1月前に植えた新 しい畑のとうもろこしの高さは3フィート半になった。 7月16日

果樹園のところで乾草刈り。3台分運ぶ。新しい畑 のとうもろこしを、午前10時から12時まで除草。

#### 7月17日

果樹園の北側で乾草刈り。1エーカーから乾草3台 芝土の畑のじゃがいもを除草する。父は午後、教会 分を運ぶ。野菜畑の下のとうもろこしは開花した。野 菜畑のじゃがいもは、にわとりの卵より大きくなった。 7月18日

> 午前中、丘の上の製材所へ行き、午後、馬車をとっ てくる。御者台をつくってもらい、馬に啼鉄をはかせ てもらう。きゅうりが採ってよいくらい大きくなった。 7月19日

父は屋根板にかんなをかけ、ウィラードは板を割っ た。

#### 7月20日

丘の上に行き馬に蹄鉄をはかせてもらう。しなの木

ドル。ウィラードと、さくらんぼを1ブッシェルほど つむ。父とウィラードは新しい畑での作業を終える。

家畜小屋の前庭の南側の乾草刈りをし、3台分とり 入れる。1エーカー半刈取った。

#### 7月23日

7月22日

牧草地の隣りの東側11/、エーカーの乾草を刈取り、 3台分とり入れた。なお、朝食には新じゃがいもが出た。 8月1日 7月24日

小寿畑の南側 1¼ エーカーの乾草刈りをし、3台分 とり入れた。

#### 7月25日

分刈取る。

#### 7月26日

父はオスウィゴへ4ブッシェルの新じゃがいもを持 って行き、ブッシェル6シル1ペンスで売る。ウィラ ードと私は1台分乾草を刈取り、夜にようやく1台分 とり入れた。乾草刈りのすすまぬ日だった。

#### 7月27日

ウィラードと北側の乾草刈りを2台分して終える。 5台分運び入れる。3台分すませてから、くま手でか き、北側の土地を終える。全部で9台分、その内6台 分は、なかなか良い。夜、丘の上へ馬車を取りに行き、 メリアムへ、じゃがいも1ブッシェル運ぶ。5シル。 7月28日

11時にAへ向けて出発し、午後4時半に着く。道はぬ かっていた。

### 7月29日

8時頃、AのW氏の家を出て、オーバン地区 (Alburn District) のイーライ・キャッセル (Eli Cassell) の家へ 10時半に着く。そこで食事のために休み、午後1時過 ぎ、ギレスピイ (Gillespee) の製材所をまわって家へ戻 る。カスヴィル (Casville) の所からシンカー (Jinker) の所まで5マイル、そこから製材所まで2マイル、さ らにコーキン (Calkin) の所へ 2 マイル,そして家まで 種から刈入れ。(110ロッド) 6マイルあった。

#### 7月30日

の木材 125 フィートをヘッド (Head) の所へ運ぶ。7 ード夫婦は10時頃ピアースの家へ行き、午後 8 時に戻 ってきた。父と私は、じゃがいもを掘ったあとへ、タ ーニップをまいた。

#### 7月31日

小山の乾草を2台分刈取り,29日に刈取った果樹園 の1台分を運ぶ。果樹園の分は終り。先月15日に植え た新しい畑のとうもろこしが開花した。

メリアムに板 500 パーチを売る。ウィラードと乾草 を刈取る。

#### 8月2日

父はオスウィゴへじゃがいも5ブッシェルを持って 再び北側を刈取り始め、2台分刈取り、さらに1台 行き、ブッシェル6シル3ペンスで売る。少々乾草刈 りをして、1台分運ぶ。とりもろこしを3本ゆでて食 べたが、まだ十分大きくはない。

#### 8月3日

乾草, 8台分を刈取り運び込む。

#### 8月4日

ゆでたとうもろこしと、えんどう豆を食べた。

乾草、2台分刈取り。これで乾草刈入れは終り。全 部で34台分、但し、小さめのものもある。じゃがいも を10ブッシェル半掘る。

#### 8月6日

父と一緒にオスウィゴへ行き、10ブッシェル半のじ ゃがいもを、ブッシェル7シルでラグルズ (Ruggles) へ売る。家を午前8時15分に出て、11時15分に戻った。 塩26ポンド半、家へ買って帰る。

### 8月7日

昨日の午後、じゃがいも11ブッシェルを掘り、父は 今日、オスウィゴへ売りに行く。ブッシェルあたり6 シル。彼は午前8時に家を出て、11時45分に戻る。ウ ィラードと私は作業場で働く。

### 8月8日

小麦を刈入れる。18<sup>2</sup>/<sub>3</sub>束 (shocks) を1ブッシェルの

#### 8月9日

ウィラードと作業場で樽の底板をつくる。父はオー 今日は曇っていて乾草作りの天候ではない。ウィラート麦を刈入れ、丘へ行って馬の蹄鉄をつけてもらった。

#### ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

#### 8 F 10 F

ウィラード夫婦はオスウィゴへ行く。 じゃがいも 4 ブッシェルを、ブッシェル4シル、卵8ダースを、ダ ース11シルで売る。小麦粉の小袋49ポンドを、11シル 働き、オート麦を少し刈る。

#### 8月12日

ウィラードと午前中作業場で働き、午後3時までラ スバーンさん (Mr. Rathburn) が家の向いで乾草を集め るのを手伝った。後はオート麦を集めた。

#### 8月13日

丘の上のリッチ・イースン (Rich Eason) に木材を運 ぶ。作業場で働く。

#### 8月14日

ウィラードと作業場で働き、ラスバーンさんが乾草 刈入れを家の向う側でするのを手伝った。彼は野菜畑 の下で、とうもろこしの採り残しを集め終る。私は2 本ほど拾った。熟した西瓜を食べた。

#### 8月15日

ウィラードと作業場で底板をつくる。父は南側での オート麦刈入れを終り、3/4エーカーから241/3束を収穫 した。私はグッドゼルの隣りの小山のオート麦を刈取 った。

#### 8月16日

午前中、小麦をグリッドリイの所へ運び、脱穀して もらう。(1ブッシェルまいて、14ブッシェルとれた。)午後、 メイ (May) の所で、樽のたがをわけてもらう件を相談 した。

#### 8月17日

作業場で働く。父は新しい畑のとうもろこしの手入 れ。小山のオート麦を収穫する。100 ロッドの畑から

### 8月18日

新しい畑のとうもろこしは、もう食べごろの大きさ になった。

### 8月19日

ウィラードと作業場で働く。樽のふたと底板をつく り、樽板を組み合わせる。父はじゃがいもを掘る。

### 8月20日

父はオスウィゴへ行く。41/2 ブッシェルのじゃがい もを、ブッシェル2シル6ペンス、5ダースの卵をダ ース11シルで売る。ウィラードと私は底板を出し、き

れいにする。コックス (Cox) から、たが1,500 本を、 3ドル75セントで買う。(1,000本あたり)

昨夜ギレスピーの家へ行き、学校についての予算を 6ペンスで買う。父はオート麦を刈る。私は作業場で たててみた。ウィラードと樽16個をつくる。その内9 個は私のつくった分。

#### 8月22日

ウィラードと樽14個つくる。私は5個半つくり、父 がオート麦3台分を取り入れるのを手伝った (37%束)。 8月23日

父はオート麦、小麦の刈株をすき込んでいる。ウィ ラードと私は約9時間に、樽20個をつくり、樽板を組 み合わせた。

#### 8月24日

ウィラードと樽を18個つくる。ウィラードは朝の内。 バターをつくった。父は採株のすぎ込みを終える。

#### 8月25日

新しい畑で、とうもろこしの採り残しを拾う。

#### 8月26日

ウィラードと樽22個つくる。Cのところへりんごを もらいに行く。

#### 8月27日

父とオスウィゴへ行く。樽90個をワイズマン (Wisman) に1個22セントで売る。8時半に出て午後1時 に戻る。

#### 8月28日

父と母はグレンビイ (Granby) に出かけた。ウィラー ドと、えんどう豆を取り入れ、また私は樽を10個つく

ウィラードと、えんどう豆の取り入れを終え、樽を 8個つくった。ウィラードは、えんどう豆のさし芽を 少々した。レイン (Rane) が小麦を脱穀所へ運ぶため、 荷馬車を借りていった。

#### 8月30日

グッドゼルから、いちご5ダースを買い、食卓に出 した。私は樽を10個つくり、えんどう豆を1台分運ん だ。コックスから樽のたが300本を、1,000本3ドル 75セントの割りで買った。

### 8月31日

午前中にえんどう豆を運び終える。今日は2台分。 ウィラードと樽18個つくる。私はたがを取ってきて、

注(19) Aは地名の頭文字であるが、何処かは不明。

<sup>(20) 1</sup>パーチは1ロッドに等しい。161/2フィート。

<sup>(21) 1</sup> 東がどれくらいかは不明。但し、この場合、18%東から脱穀して収れた小妻の量は14ブッシェルであった。8月16 日の項を参照。

注(22) グレンビイは近くの村。

#### 9月2日

ウィラードと樽20個つくる。

父はとうもろこしを刈取り、牛にやる。

#### 9月3日

ウィラードと樽25個つくり、板を組み合わせる。私 は13個つくり、1個を31分で完成した。父はとうもろ こしを刈取る。

#### 9月4日

こしを刈取る。私はオスウィゴへ樽91個を持って行き、 もをゆでる。 ワイズマンに 1 個22セントで売る。カズネル (Casnell) のために小麦粉を買う。小麦粉は4ドル50セントから 4ドル75セント。

### 9月5日

昨日からサラ・ルイス (Sarah Lewis) が、糸を紡い でくれる。樽のたがを運ぶための袋をつくった。

#### 9月6日

アルビオン (Albion) の所へ行き、たが 5,000 本を、 1.000本あたり3ドル25セントで買う。チャールズ・ フィールド (Charles Field) へ 1,000 本を 3 ドル62セン ト5で売る。朝5時に出て、夕方6時半に戻った。父 ックポート市場向けに1個26セント半で契約させる。 はとうもろこしを刈取り、ウィラードは作業場で働い

### 9月7日

|樽を10個つくる。父はとうもろこしの刈取り。

### 9月9日

樽を11個つくる。父は丘の上へ行き、荷馬車の車輪 を修理してもらった。父と一緒にじゃがいも11ブッシ ェルを掘った。

#### 9月10日

父はじゃがいも11ブッシェルを持ってオスウィゴへ 行き、6ブッシェルは、ブッシェルあたり2シル、5 うもろこしを運ぶ。 ブッシェルは、同22セントで売った。樽を12個つくる。 9月24日 ブラックペリイをつむ。

ウィラードと樽を16個つくる。父は野菜畑の下のと うもろこしを刈取り、運び入れた。

野菜畑の下のとうもろこし刈取りを終えてから、畑 のとうもろこしを刈取る。

ウィラードと樽を16個つくる。J・ラスパーンから 当才の雌牛2頭を、1頭9ドル半で買入れる。父は畑 のじゃがいもを掘り、豚の飼料にするためゆではじめ

#### 9月14日

ウィラードと樽を17個つくる。サラ・ルイスは2週 間の仕事を終え、今夜、彼女を家へ送って行く。先週 ロックポート (Lockport) からの人が来て、樽1個26セ ントから27セントで買入れる契約をしていった。父は ウィラードは桃とりんごを接木する。父はとうもろ とうもろこしを刈取り、私は豚の飼料にするじゃがい

ウィラードと樽16個つくる。

#### 9月17日

新しい畑のとうもろこしを刈取る。ブラウンさんの 家の横に電信柱をたてた。

#### 9 H 18 H

ウィラードと樽20個つくる。父はえんどう豆を脱穀 する。

オスウィゴへ樽91個を持ってゆき、メリアムに、ロ 樽は1個25セントから26セントで売れる。父はじゃが いもを掘り、ウィラードは作業場で樽を2個つくる。

ウィラードと樽を22個つくる。父は新しい畑のとう もろこしの刈取りを終え、じゃがいもを掘った。

ウィラードと樽21個つくる。父はまいた分のとうも ろこしの刈取りを終えた。

#### 9月23日

ウィラードと樽20個つくる。父は南側の畑から、と

ウィラードと樽10個つくる。父はとうもろこし入れ (corn crib) をつくる。

今日はニュー・ヘイヴンで、オスウィゴ郡農業協会 の共進会。母を除き家族全員で出かけた。

#### 9月26日

今日は、父とウィラードと一緒に、すき起し競技

### ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

(ploughing match) を見物し、マリイ会長 (H.Murray) 10月5日 の演説を聞いた。

#### 9月27日

個26セントで売る。ウィラードは底板をつくり、父は とうもろこし入れをつくり終えた。

### 9月28日

ウィラードと模16個をつくる。父はじゃがいもを掘 10月8日 る。

#### 9月30日

今朝、軽い霜が下りたが、場所によって、つたが枯 れた程度。17ヵ月の雌牛を屠殺した。重さは次の通り。 肉 344 ポンド, 皮65ポンド, 脂肪22ポンド, 計 431 ポ ンド。ハサウェイ (H. Hathaway) が 4 分の 3 (250 ポン ド) をポンド 3 セント, アレン (G. Allen) が皮をポン ド4セントで引取った。ウィラードは樽3個をつくり、 手にけがをした。私は樽11個をつくる。 シモンズ (H. Simmons) の羊を引取る。

#### 10月1日

父はとうもろこしを運び入れ、じゃがいもを掘る。 私は樽を13個,午前6個,午後7個つくる。1個あた りの時間は次の通り。41分、42、39、52、53、41、午 前中計4時間28分。午後は、35、33、37、43、38、42、 34, 計4時間22分。午前午後とも最初の3個は組み合 わせてある樽板を使用。

#### 10月2日

父は納屋でとうもろこしの皮むきをする。私は樽14 個つくる。その内10個は前もって樽板が組み合わせて あった。昨日20個をたがにはめ、今日は12個を、仕事 を始める前にすませた。

### 10月3日

父はとうもろこし皮むき。私は樽を11個つくり、ふ た、底板をつくり、樽板を組み合わせた。また、たが 10月15日 をたばねた.

#### 10月4日

ウィラードとオスウィゴへ樽92個を持って行き、ワ イズマンに1個26セントで売る。小麦粉1樽を4ドル 50セントで買う。私は帽子を14シルで買った。父はじ ゃがいも掘り。

アルビオンのところへ樽のたがを買いに行く。5,00 0本を, 4,500本は(1,000本あたり)2ドル,500本は同 オスウィゴへ樽91個を持って行き、ワイズマンに1 3ドルで買った。帰りは、パインヴィル (Pineville) と プラスカイ (Pulaski) を通って来る。

#### 10月7日

父は野菜畑の下のとうもろこし皮むき。

ウィラードと冬りんごを収穫する。 5ブッシェルは スピッツェンベルグ種 (sptg.), 4ブッシェルはグリー ニング種(greening), 1 ブッシェルはラセット種(Russett), 残りはオランダ・ピピン種 (holland pippin) などである。 父は野菜畑の下のじゃがいもを掘り、とうもろこしを 運び入れる。

#### 10月9日

父はじゃがいもを掘る。チャールズ・ブラウンが手 伝う。穴蔵に16ブッシェルを入れる。以前に17ブッシ ェル入っている。私は樽を5個つくる。

### 10月10日

父はじゃがいもを掘り、チャールズ・ブラウンが手 伝う。私は樽を10個つくる。穴蔵へ、じゃがいも25ブ ッシェル入れる。

#### 10月11日

父は納屋でとうもろこし皮むき。私は樽り個つくる。

樽を7個つくる。ブラウンの家へ行き、台所を建て るのを手伝う。父はとうもろこしの運び入れを終え, じゃがいも掘りも終える。

#### 10月14日

霜が降りて、つたが枯れた。この秋、はじめての、 かなりな霜である。ウィラードと樽16個つくる。父と チャールズ・ブラウンは、じゃがいもを掘り、12ブッ シェルを穴蔵へ入れた。

ウィラードと樽18個をつくる。父はオスウィゴへ8 ブッシェルのオランダ・ピピン種のりんごを持って行 き、ブッシェル1シル6ペンスから2シルで売る。チ ャールズ・ブラウンはじゃがいも9ブッシェルを掘り, 穴蔵へ入れる。くず穀物を買った。

### 10月16日

注(23) ロックポートは、ナイアガラの滝に近い町。

<sup>(24)</sup> ニュー・ヨーク州には各郡に農業協会があり、それぞれ秋に共進会を聞いた。

注(25) アレンは、なめし皮業者である。

<sup>(26)</sup> スピッツェンベルグ等は、いずれもりんごの品種名である。夏にとれるりんごとしては、アストラカン(Astrachan), 秋のものとして、グレイヴンステイン (Gravenstein)、冬りんごとしては、ボールドウィン (Baldwin),グリーニング、 ラセット、ピピン等が有名。

る。樽を18個つくる。南側の畑から茎と豆とを運ぶ。 れてしまった。 父は豆類を脱穀する。

#### 10月17日

#### 10月18日

オスウィゴへ樽90個を持って行き,ワイズマンに, 1個26セントで売る。

#### 10月19日

サイダー用のりんごを収穫する。11ブッシェル半。 10月21日

父はオスウィゴへ行き、ミルズ=ホイットニイ商店 いった。 (Mills and Whitneys) で、穀物のふるいかす45ブッシ ェルを、ブッシェルあたり1シル6ペンスで買った。 ウィラードと樽14個つくる。

#### 10月22日

ウィラードはプラスカイへ利息を払いに行く。父は 11月2日 畑でじゃがいもを掘る。私は樽を10個つくり、たがを さき、樽板を組み合わせた。6個半分つくる。

#### 10月23日

台分運んできた。

### 10月24日

父はオスウィゴへ、ロウ氏 (N. Rowe esg.) のために 始め、7ブッシェルずつ皮をむいた。 荷物を運ぶ。穀物ふるいかす35ブッシェルを、ミルズ 11月4日 =ホイットニイ 商店で、ブッシェル1シル6ペンスで 買って帰る。ウィラードと私は樽を16個つくり、底板 畑の所で皮むきをし、夜は納屋でやった。 をつくる。

### 10月25日

袋を買いに行く。

### 10月26日

父はサイダー1樽と、穀物ふるいかすを持って帰る。 ウィラードと樽16個つくる。

### 10月27日

昨夜中雨が降り、今日も2時まで降る。道に水があ 11月7日 ふれ、約6ロッドの幅にあふれている。地面は水にす っかりおおわれている。

#### 10月28日

父は、穀物ふるいかすの最後の分とサイダーを持っ 11月8日

メリアムに、たが 1.500 本を、(1.000本あたり) 3ド て帰る。マーク (Mark) の樽を、8 シルで買って来る。 ル75セントで売る。また、彼に60ドルを90日間貸付け ウィラードと樽16個つくる。橋は柱ごとすっかり流さ

#### 10月29日

家族の者は道路をなおし、橋をかけなおして、17 樽19個つくる。父は牧草地をきれいにし、牛を放牧 ィートだけ高くした。私はオスウィゴへ樽91個を持っ て行き、ワイズマンに1個28セントで売る。

#### 10月30日

ライト (Wright) から、なしの木を1本4シルで買う。 じゃがいもを掘り、20ブッシェルを穴蔵へ入れる。 10月31日

## じゃがいもを掘り、20ブッシェルを穴蔵へ入れる。 庭の北側へ、なしの木を植えた。まず西側から植えて

じゃがいも12ブッシェルを掘り、穴蔵へ入れる。と うもろこし5台分を運び入れる。

午前中ウィラードと丘の上へ行き、ロバート(H. Robert) の所で, 樽板 1,500 枚を, 1,000 枚あたり 4 ドル, 生木のたが500本を、1,000本あたり4ドルで買う。 樽を16個つくる。父は川向うから、とうもろこし1 じゃがいもを少し掘る。今日は、とうもろこし14ブッ シェル(穂)を皮むきした。すでに76ブッシェル分皮む きしてある。ウィラードと私は今夜はじめて皮むきを

とうもろこし皮むき、45ブッシェル。昼間は新しい

#### 11月5日

ニュー・ヘイヴンのタウンの選挙。とうもろこし穂 ウィラードと樽14個つくる。父は穀物ふるいかす10 25ブッシェルの皮をむく。選挙へ行った後、とうもろ こしの茎を積み上げる。

#### 11月6日

新しい畑のとうもろこしを終了。20ブッシェル。納 屋に同じ量、皮をむくのが残っている。茎を積み上げ る。新しい畑の林のそばに2山積む。

樽15個つくる。父は、かばちゃを運び、雑用をする。 じゃがいも20ブッシェルを穴蔵に入れ、計131ブッシ ェル。そのほか、すでにゆでた小粒の分が少々。

注(27) 穀物のふるいかすは、家畜の飼料用。

### ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

父はオスウィゴへバター 292 ポンドを持って行く。 用の樽をつくった。 183ポンドはポンド14セント、109ポンドは同13セント 11月20日 で売る。また、チーズ221/2ポンドを、ポンド51/2セン トで売り、じゃがいも1ブッシェルを3シルで売る。 小麦粉1樽4ドル50セント, 鉄の輪のついた大樽 (hogs- 11月21日 head) を 8 シルで買ってきた。 ウィラードと私は樽 12 個つくる。

### 11月9日

樽16個つくる。メリアムから底板 150 枚を、1,000 たり5 ドルで売る。 枚あたり4ドルで買う。父はかぼちゃを運んだ。

#### 11月11日

いつもと同様に樽16個をつくった。

#### 11月12日

樽16個つくる。フラー伯父 (Fuller) が来た。

#### 11月13日

樽16個つくる。フラー伯父に7ドル払う。

### 11月14日

オスウィゴへ樽91個を持って行き、マシュウズ(Math- 15ドル。靴と雑貨を買った。 ews) へ1個24セントで売る。 それをワイズマンの所 へ運んで行く。これで今シーズンの樽つくりは終了。 計822 個で201 ドル23セント、平均1 個24セント半に かぼちゃもやった。 なる。ライトから、なしの木4本を買った。3本はヴ 11月25日 ァーガリイ種 (Virgaly), 1本はフレミッシュ・ビュー ティー種 (Flemish beauty)。

### 11月15日

庭の下へ、ヴァーガリイ3本を植え、果物の種をまく。 庭の東側から,1列はなし,1列はまるめろ (quince), から今朝までの間に,2ドルする刃物を盗まれた。 8列はりんご。父は昨日、納屋のとうもろこし皮むき 11月27日 を終える。15ブッシェル。

### 11月16日

禁酒主義の講演を聞いた後、グッドゼルの家の舞踏 会 (ball) へ行く。ワイルダー夫人 (Mrs. Wilder) に、 編物35ヤード分, 2ドル45セント払う。

#### 11月18日

作業場で働く、樽板を少し切る。部屋から穀物入れ を納屋へ移す。門口の庭になしの木を植える。フレミ 11月29日 ッシュ・ビューティー種のもの。

### 11月19日

父はオスウィゴへ行き、じゃがいも5ブッシェルを、 11月30日 ブッシェルあたり3シルで売る。煮沸用の大樽を5シ ルで買い、荒い穀物くず12ブッシェルを、ブッシェル 61/4 セントで買ってきた。 ウィラードと私は、りんご 12月2日

ウィラードと作業場で少し樽をつくる。野菜類を取 入れる。

雪。 2 歳の豚を屠殺、ブラウンの棹ばかりで 408 ポ ンド, 正味は 400 ポンド。ウィルスン (Wilson) が手伝 ってくれた。彼に半分の200ポンドを、100ポンドあ

#### 11月22日

ウィラードと肥料を運び出す。ウィラードは、以前 じゃがいもを植えた場所のターニップ 9 ブッシェルを 掘って取入れ終る。

#### 11月23日

ウィラード夫婦と一緒にオスウィゴへ行く。チーズ 851/2ポンドをポンド6セント、バター371/2ポンドを同 14セントでマークの店で売る。今日の取引は14ドルか

#### 11月24日

牛にとうもろこし茎を餌として与え始める。以前に

丘の上へ行き馬の蹄鉄をつけてもらう。じゃがいも 14ブッシェルをオスウィゴへ運んだ。

### 11月26日

ウィラードと作業場で働く。ウィラードは今月22日

父はオスウィゴへ行き、じゃがいも14ブッシェルを、 ブッシェル3シル、オート麦7ブッシェルを同2シル 6ペンス,豆11/2ブッシェルを7シルで売った。ウィラ ードと私はりんごの樽をつくり終えた。合計21個。私 はサルサ (sarsaparilla) を掘った。

#### 11月28日

父は穂つきのとうもろこしを持って製粉所へ行った。

ウィラードとチーブ (Cheeve) の土地の南側で、 楓と 雄の木を切る。

ウィラードと木を切る。

注(28) サルサは楽草。

ウィラードはオスウィゴへ、チーブのために樽91個 12月14日 を持って行き、しっくい用の樽として1個18セントで 売る。私はゴードン(Gordon)の所と村へ行って、教会 の建物の件で相談。

#### 12月3日

父はオート麦を脱穀し、製粉所へ行った。

### 12月4日

メソジスト教会の建物用の材木を運び出す。プラウ ンとF・W・グッドゼルが下の林で手伝ってくれた。 父はオート麦を脱穀。

### 12月5日

午前中に、セヴァーマン氏 (Mr. Severman) の役牛を 使って材木を運び、道路のところまで運び出した。ブ ラウンと私とで、午後、丘の上へ運んだ。

#### 12月6日

父と私はオスウィゴへ行く。161/2ブッシェルのオ ート麦を、ブッシェル2シル6ペンスでブリッグス (Briggs) へ売り、じゃがいも9ブッシェルを同2シル 9ペンスで売る。ウィラードは丘の上で、教会の建物 の作業。砂糖と釘を買ってきた。

#### 12月7日

14フィートの丸太を製材所へ運び、たるき用の9本 の角材に切ってもらう。175フィートと、3枚の巾狭 の板、残り15フィート。

#### 12月9日

製材所へ丸太6本を持って行き、416フィート切っ てもらう。父はオート麦の脱穀。林の中で働く。

#### 12月10日

259フィート切ってもらう。 ウィラードが手伝う。父 12月23日 はオート麦の脱穀。

#### 12月11日

丸太6本を製材所へ運び、497フィート切ってもら ら。午後木材1台分をメリアムへ運び、メソジスト教 会の建物を建てるのを手伝った。父はオート麦の脱

### 12月12日

木材2台分をメリアムへ運び、丸太2本を製材所へ 運ぶ。609フィート切ってもらう。

### 12月13日

製材所へ丸太8本を運び、1,074フィート切っても 12月25日 らう。ウィラードは丘の上の建物の作業。

#### 注(29) 教会堂ではなく、付属の建物のことである。

(30) 税金は不動産税。評価額は,農場価値の評価額。但し,実際に売買する場合の額とは異なる。

製材所へ丸太7本を運び、221フィート切ってもら **う。ウィラードは丘の上の建物の作業。屋根板をのせ** 終え、建物の背面を完成させた。

#### 12月16日

木材2台分をメリアムへ運ぶ。ウィラードは教会の 建物の端の部分を加えた。

#### 12月17日

ウィラードと木材6台分を家へ運ぶ。昨夜ウィラー ド夫婦と村の音楽学校 (singing school) へ行く。オスウ ょゴのカーペンター (Carpenter) が先生で1晩2ドル だった。

#### 12月18日

H・ロバートの所へ木材1コードを運ぶ。メリアム の所へ2台分運び、計5コード、コードあたり1ドル。 ウィラードは林で木を切り、父は雑用をする。

#### 12月19日

オート麦をふるい分けする。28ブッシェル取れ、あ と20束残った。今シーズンのオート麦収獲量は、飼料 にした分を除いて51ブッシェル半。

#### 12月20日

父はオスウィゴへ行き、ハム30ポンド、ポンドあた り7セント、チーズ20ポンド、ポンドあたり51/2セン トで売る。私は丘の上へ行き、ウィルソンとメリアム との勘定を清算した。

丘の上へ行き、馬に蹄鉄をつけてもらう。父はえん どう豆の脱穀。ウィラードと私は納屋で木を切る。税 馬に蹄鉄をつけてもらい,製材所に丸太5本を運び, 金7ドル38セントを支払う。評価額1,050ドル。

昨夜から吹雪となり、今日は一層激しく吹雪いてい る。雪が非常に速く飛んで行く。風が非常に強いので、 納屋にたどりつくまでに後を向いて息をしなければな らないほどだ。風は北東の風である。雪は1フィート 位の深さだが、風が吹き上げて、吹きだまりをつくっ ている。知るかぎりでは最悪の日だ。雪が戸外の物を 吹き流す。今日は牛を外へ出さない。羊と豚は納屋へい れて嵐をよけさせた。父はえんどう豆の脱穀を終えた。 12月24日

### 雪をどける。

**---** 78(442) ---

丘の上の製材所へ行く。

# ウィラードと木材を運ぶ。

ニュー・ヨーク農民の日記, 1850年

### 12月30日

12月28日

もフブッシェルとれた。

丘の上のニコラス (Nicholas) の所へ行き、馬に陥鉄 をつけてもらう。

以上で1850年の日記は終りである。なお、当時の農民 朝の内、豆をふるい分ける。 7 ブッシェル。以前に の生活を実際に目で見ることのできる場所として、ニュ ー・ヨーク州クーパーズタウン (Cooperstown) の「農民博 物館」(the Farmer's Museum) がある。これはニュー・ヨ ーク州歴史協会の付属博物館で、18世紀後半から19世紀 前半にかけての同州の村の生活を再現しており、本日記 中に出てくる道具類などの展示館も設けられている。